

令和4年度「数学A」シラバス

学年	学科・コース等	教科	科目	単位数	履修形態
1	美術科	数学	数学A	1	必修
教科書	最新 数学A(数研出版)				
副教材	新課程 チャート式 基礎からの数学 I + A(数研出版) 新課程 教科書傍用 パラレルノート 数学 I + A(数研出版)				

学習の目的

- 1 場合の数と確率, 図形の性質または整数の性質について理解する。
- 2 基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培う。
- 3 数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。

学習の目標

評価の割合

I 知識・技能	授業に主体的に参加し、各単元における基礎的な知識を習得し、理解できている。	4
C 思考・判断・表現	基本的な概念, 原理・法則の意味を理解し、活用したり説明したりすることができる。	3
E 学びに向かう力・人間性等	数学的に考えることに関心をもち、いろいろな角度から考えることができる。	3

つ け たい 力	みつめる力	習得した内容を活用できる。
	きわめる力	数学的論拠に基づいて考えたり、仮説を立てたりして問題を解く。
	つなげる力	日常の事象につなげ、課題を解決をしようとする。

評価方法

I C E

◇ 定期考査、課題考査等	○	○	
◇ 課題・提出物の状況（日々の演習、週末課題、定期考査や模試のやり直し、長期休暇における課題）		○	○

履修上の注意および学習のアドバイス等

- ◇ (予習について)
教科書の「例」や「例題」を参考に、「練習」問題を解いて授業に臨んでください。わからなかった部分を把握しておいてください。
- ◇ (授業について)
予習でわからなかった部分をよく聞くようにしてください。自分の考えを周囲の人に説明する、または周囲の人の考えを聞く、ということを意識してください。
- (課題について)
- ◇ 日々の演習、週末課題、長期休暇の課題は提出期限を必ず守ってください。参考書を見ながら取り組んでください。

年間指導計画

学期	月	学習内容	学習のねらい・目標	考査	思考を深める問い (C・E)	E: 学びに向かう力・人間性									
						I: 知識理解	C: 思考判断表現	E: 学びに向かう力・人間性							
第1学期	4	<数学Iを実施します。>													
	5														
	6														
	7														
第2学期	9														
	10								第1章 場合の数と確率 第1節 場合の数 第2節 確率	○場合の数を求めるとき の基本的な考え方や確率 についての理解を深め、 それらを事象の考察に活 用できるようにする。			○	○	○
	11								第2章 図形の性質 第1節 平面図形 第2節 空間図形	○平面図形や空間図形の 性質についての理解を深 め、それらを事象の考察 に活用できるようにす る。	期末考査		○	○	○
12					○	○	○								
第3学期	1	第3章 数学と人間の活動	○さまざまな人間の活動 の中から、整数を中心と した数学的な要素を見出 し、数学の内容の理解を 深めると同時に、現実の 事象を数学を用いて考察 できるような力を培う。			○	○	○							
	2			期末考査		○	○	○							
	3					○									

※行事等で変更になる場合があります。